



「食と緑」のパートナー養成 松戸カレッジリンク講座 2018

カレッジリンク・プログラムとは、地域の方と大学生と一緒にワークショップ形式で学ぶ、千葉大学独自の新しい学習プログラム。誰でも参加可能で、修了者には千葉大学長名の履修証明書も発行されます。

■主旨・目的

松戸では松戸駅からキャンパスまで、今「食べられる景観の散策路」(Edible Way)を進めています。園芸学部の特徴の「食と緑」をもっとまち全体に広げるための楽しく、多くの人が関わる仕掛けを市民と学生で考えようと昨年に続いて今年も実施します。

「食と緑」について市民と学生が面白いアイデアを出し合えば、松戸らしいものが生まれるのではと期待をして、市民、学生と教員の叡智を結集する機会にしたいと思います。

■コーディネーター 木下 勇 (園芸学部 教授)

■内容 (予定)

①10月21日(日) 9:00-13:10 園芸学部 E 棟 1 階 学生ホール

秋田典子准教授による「コミュニティガーデンの楽しみ方」

地域住民のみんなの庭である「コミュニティガーデン」のつくり方や楽しみ方を学びます。

なお当日は松戸店駅から戸定邸、キャンパスにかけて松戸市による国際芸術祭に向けた「科学と芸術の丘 2018」が開催中で、午後には江口亜維子(博士後期課程学生)主宰のカレーキャラバンもあり、それらも楽しむことができます。

②10月28日(日) 9:10-12:10 園芸学部 E 棟 1 階 学生ホール

野村昌史准教授による「昆虫の擬態～その驚きの世界に迫る」

内容：地球上で最も種数の多い生物、昆虫たちがどのようにして繁栄してきたのか「擬態」をキーワードに、その驚きの世界を講義と野外観察で紹介します。

③11月4日(日) 9:00-13:10 E 棟 307 教室

木下勇教授「食べられる景観」&江口亜維子とみどりの回廊学生 WG によるエディブルガーデン
食べられる景観とは何か。食べられる景観がなんとなくまちに楽しさをもたらすその訳と意味を考え、世界の面白い事例を参考にその応用を考えます。

Edible Way (食べられる道) のプロジェクト代表の江口亜維子(博士後期課程学生)はじめ ISO 学生委員会や訪問園芸、援農隊などみどりの回廊学生 WG によるエディブルガーデンを楽しみます。また当日は大学祭戸定祭中で、それもあわせて楽しむことができます。

④⑤11月10日(土) 9時～16時30分・場所:21世紀の森と広場および同パークセンター

柳井重人准教授と三島孔明准教授による「公園を育てる」

「21世紀の森と広場」を題材に、公園の魅力やそれを育てる試みを学びます。

09:00 21世紀の森と広場中央口集合 09:00-12:00 園内見学, パークセンターにて講義 12:00-13:00 昼食・休憩 13:00-16:30 魅力ある遊び空間を考えるワークショップ

受講申し込み・問合せ先・受講料について 申し込みの締め切りは 10月15日です

千葉大学学生

千葉大学大学院園芸学研究科 木下勇
isamikinoshita@faculty.chiba-u.jp へご連絡ください。
授業として開講しますので、受講料は無料です。

一般市民の皆様 千葉大学柏の葉カレッジリンク・プログラム事務局

E-MAIL: ccrc@chiba-u.jp へご連絡ください。
受講料は 1 万円のところ、昨年度に続き特別割引価格 5,000 円
協力: 松戸市 (政策推進課)

